

雨が上がり、陽光差し込む神社
軒先に頭が届くほどの体軀をもつ巫女さんが
自分に近づき屈むと、甘い吐息を絡めて優しく囁いてきた。

雨宿りですか？♡
ふふ…お互いびしょびしょですね。
一緒にお風呂入りませんか…？♡

キラ…
キラ…

♡♡

ゆさっ

ゆさっ♡

べも…

ぴちゅ



ムリ...
ムリ...

ふふっ、私のおっきなおっぱいに
ちっちゃいあなたがすっぽり...♡
落ちちやうから腕でぎゅーっ...♡
お風呂までママの中で
ぬくぬく揺られててください♡

ぱん...
ぱん...

ぞく...ぞく...♡

ぎゅー♡

あなたには深いですよね♡
だからママの上に乗って…
いい子ですね♡

ほら…お口開けて♡
ママのおっぱい、
たくさん飲んでください…♡
ふる…物足りないですか？♡
それなら…♡(続く)



どく…

どく…♡



びゅん…

べと…

まわあ…

ちゅぽぽ…



はっ
はっ
はっ

きゅん
きゅん
きゅん

あんっ...♡
ほら、見ててください♡
あったかい母乳シャワー
たっぷり浴びてくださいね♡
全部ママの味で
びしょびしょにしちゃいます♡

おねえ...

きゅん
きゅん
きゅん

ふーッ
ふーッ
♡

♡
♡

おっぱいにぎゅーって挟まれて
寝心地はどうですか？♡

柔らかいママおっぱいの中で
ゆーっくり息をして…♡

この温もりと、心臓の音だけで
…もう瞼、重いでしょうっ？♡

すっとうっやあって…睡魔で…♡
おやすみなさん…♡

しん♡
しん♡

たやばー♡

はー…

ギンッ

ギンッ

